

テレビゲームでは、ボタンを押せば簡単に相手を殺したり生き返らせたりできます。そうした影響で、子どもたちの中に「生と死」そして「人間の命」というものの現実感が薄れてきているのではないかと心配されています。2005年に長崎県が「生と死」に関する意識調査を実施しました。

「死んだ人が生き返ると思いますか」という質問に対して、小学6年生は13・1パーセントが、中学2年生では18・5パーセントが「生き返る」と答えています。

命の有限性は、子どもにとつて必ずしも自明の理ではないことに驚かされます。

またある所で、小学生を対象にした調査では、葬儀に参加した経験のある子どもと経験のない子どもを比べた場合、葬儀に参加した経験のない子どもの方が「人は死なない」と答える割合が多かったそうです。

今日、火葬場で子どもの姿を見ることは少なくなりました。火葬場は、人間の生と死を感じとして子どもたちに教える大切な教室ではないで

しょうか。

人間はどれほど多くの人の関わりの中で生きてきたか、そして多くの人々のいろいろな思いの中で送られていくか、別れがあるからこそ人との出会いはより貴重なものであるということも学ぶことができます。

日野原重明医師は、「子どもたちに死者を見せ火葬場へも連れて行き、焼かれるところを見せた方がいい。それをしないから、人間が死ぬということがぴんとこないし、命を粗末にする」と述べています。

子どもを育てる大きな課題の一つに、「しっかりと死を見せる」ということも大切なように思えます。

死にゆくものがあるからこそ、新たに生まれる生もある。死は悲しいものではあるが、その悲しみを乗り越えて自分の生を生ききつていくとともに、他の生命も大切にす



農業に関する副読本が寄贈されました

3月26日に、JA周桑およびJA西条から、農業に関する副読本「農業とわたしたちの暮らし」が寄贈されました。この副読本には、農業と食生活との関わりや農業の現状についての学習資料が掲載されており、小学5年生を対象に、社会科や総合的な学習の時間、食育の指導等で活用させていただきます。



ありがとうございます
ございました

次の方々からまごころ銀行へ、ご厚志をいただきました。心からお礼申し上げます。
(順不同 敬称略)

- 個人
- 柳瀬英子(壬生川)
- 各種団体
- 愛媛県東予地方局課税課
- 西条歌謡同好会
- 愛媛県東予地方局税務管理課
- (株)こっこー
- 林子ども会

図書が寄贈されました

3月22日に、社団法人伊予西条法人会から、昨年に引き続き西条図書館に図書が寄贈され、星加隆夫会長から目録が手渡されました。寄贈された児童図書は、西条図書館の蔵書として来館者の皆さまにご利用いただきます。



図書が寄贈されました

国際ソロプチミスト西条(宇佐幸子会長)が、3月26日に開催した竹田恒泰チャリティー講演会「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」の収益金で、西条図書館に図書を寄贈されることとなり、講演会会場にて宇佐会長から、青野市長に目録が手渡されました。

寄贈された児童図書は、これまで寄贈いただいた図書とともに、西条図書館の蔵書として来館者の皆さまにご利用いただきます。

